

(事例49) 41歳女性、食品製造業、糖尿病コントロール不良のため深夜業禁止

類型	症候	疾患
3	1. 糖尿病管理不良 (高血糖)	9. 糖尿病

きっかけ	<input checked="" type="checkbox"/> 健康診断の有所見	<input type="checkbox"/> その他の機会
<p>1. 対象者のプロフィール</p> <p>1) 年齢、既往歴 41歳女性 肥満あり (BMI31.2)、糖尿病</p> <p>2) 業種、作業内容 かまぼこ製造業 工場において、週5日間、1日7時間勤務 (20時～6時の常夜勤) 魚の切り身から骨を取り除く立ち作業</p>		
<p>2. 就業制限・配慮の対象となった疾病、健診値異常 例) 高血圧、HbA1c 高値、腰痛など 糖尿病 HbA1c 12.1 その他、脂肪肝の所見はあるが、その他のリスクファクターなし</p>		
<p>3. 就業制限・配慮の内容 例) 高所作業禁止、出張禁止、残業禁止、配置転換、治具導入など 深夜勤務禁止 (常昼勤への変更)</p>		
<p>4. 事例の詳細 (背景、経緯、特に考慮した事情など)</p> <p>+ 母子家庭。 + 常夜勤は給料が高く、また高校生の娘のクラブ活動の支援を行うなど、昼間の時間帯を有効に使うことができるため、7年間にわたって同じ勤務状況。 + これまで、2年間にわたって HbA1c が 10%前後であり、内科医院は受診していたため、保健指導を行うとともに、改善がなければ就業制限をかける可能性を示唆してきた。 + さらに悪化があったため、就業制限をかけた。 + 娘の最後の大会までに改善して、常夜勤に戻れることをモチベーションに、生活習慣改善の努力と確実な服薬を行い、3ヵ月間で HbA1c 7.5%まで改善した。 + 悪化した場合には、再度制限をかけることを前提に、制限勤務を外した。</p>		
<p>5. 就業制限・配慮の主な目的 (複数回答可)</p> <p>③ 健康管理を促進するため (受診、治療を強く進めるため)</p>		
<p>6. 就業制限を実施するにあたって注意した事、阻害要因、問題点などあれば教えてください</p> <p>+ 常夜勤は本人の生活設計に大きな位置を占めており、産業医としてもためらいがあった。 + このことが制限後の改善に結びついた事例と思われる。</p>		